

信州大学医学部附属病院
腎臓内科に過去に通院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

「慢性腎臓病(CKD)患者における年齢別 eGFR および eGFR スロープと腎予後・生命予後の関連」に関する臨床研究を実施しています。

(※eGFR とは腎臓の機能を表す指数であり、eGFR スロープとは腎臓の機能を表す指数の経年変化のことです。)

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	慢性腎臓病(CKD)患者における年齢別 eGFR および eGFR スロープと腎予後・生命予後の関連
所属(診療科等)	信州大学医学部附属病院 腎臓内科
研究責任者(職名)	原田 真 (腎臓内科・助教)
研究実施期間	研究機関の長による許可日～2031 年 1 月 31 日
研究の意義、目的	慢性腎臓病患者さんはどの程度の eGFR が維持されていれば「寿命が尽きるまで腎代替療法に至らない可能性が高いか」明らかにします。
対象となる方	2014 年 1～3 月の間に当院及び下記の共同研究機関を受診し加療を受けた慢性腎臓病(CKD)患者。
利用する診療記録	年齢、性別、身長、体重、BMI、収縮期血圧、拡張期血圧、尿検査結果、血液検査結果、喫煙歴、心血管病、癌・悪性腫瘍の既往、慢性腎臓病の原因、高血圧・糖尿病・脂質異常症の病歴、レニンアンジオテンシン系阻害薬の有無。また腎機能や栄養状態の指標の経時的な変化、観察期間中の SGLT2 阻害薬追加の有無とそのタイミング。腎不全や死亡に至った日時、その原因について
他機関から試料・情報の提供を受ける方法	記録媒体により提供を受ける
研究方法	CKD 患者さんのベースラインの eGFR とその後の腎予後の関係を調べます。
共同研究機関名 (研究責任者氏名)	長野中央病院、長野赤十字病院、相澤病院、南長野医療センター篠ノ井総合病院、諏訪赤十字病院、伊那中央病院、松本市立病院
研究代表者	主任施設の名称: 信州大学医学部附属病院 腎臓内科 研究責任者: 原田 真

問い合わせ先	氏名(所属・職名): 信州大学医学部附属病院 腎臓内科 助教 電話: 0263-37-2634 原田 真
--------	---

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

患者様を直接特定できる個人情報を削除した上で提供された試料・情報等を利用します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。